CONNECT×CONNECT

市民活動推進事業報告書

[平成25年度]

いちのせき市民活動センター

目次

目次

いちのせき市民活動センターの概要

平成25年度総括

相談支援業務報告

地域協働体の組織づくり支援業務報告

情報発信・収集業務報告

地域への参画支援業務報告

話し合い支援業務報告

市民活動団体との連携業務報告

いちのせき市民活動センター事業報告

いちのせき市民活動センターの概要

いちのせき市民活動センターは、コミュニティ活動やボランティア、NPOなどさまざまな分野で自発的な市民活動を展開している皆さんやこれから活動をしようとする皆さんを応援します。

広域的な情報・人材交流ネットワークの拠点として、市民と市民活動団体、企業、行政の協働の橋渡しの役割を担う事や市民活動に関する情報の提供、活動団体相互の交流と連携の促進やさまざまな社会貢献活動を行う団体の自立のお手伝いをします。

市民が主体となった地域づくりを積極的に進めるため、市民活動の活性化と市民活動への多様な参加、連携を図るとともに、市民活動団体への支援、情報交換、研鑽を進め、市民活動団体が活動しやすい地域基盤づくりを促進することを目的とし、一関市大町のいちのせき市民活動センター、千厩町千厩のせんまやサテライト2か所を拠点としています。

戦略上の重要事項（MISSION）

「個人」の尊厳と「地域力」の向上

「ひとりの困った」を「みんなの困った」に！地域住民は何を必要としているのか。何をしたいのか。地域の課題は何か。自分たちができることは何かをいっしょに考えます。

「地域が活性化された状態」をつくりだす

単に人が増えたからといって「活性化」ではありません。人が増えれば増えたで、ごみなど新しい課題が発生します。問題解決や新価値創造への取り組みが絶えず起こせる創造的人材が、地域に多く存在（地域力が創出）し、持続的に自ら課題解決ができる地域を、活性化した状態と考え、住民が信頼関係でつながり、楽しく活き活きと生活し、地域の主体としてビジョンを描いて自己実現ができる地域づくりをサポートします。

「新たな公共の担い手」として

市民活動団体（NPO）が地域の人たちと協働して活動する地域基盤を創出します。

最終的な仕上がりの姿・・・

地域において生き生きと暮らすための舞台として、「安心・安全（防災・福祉）」で、「美しく（風景・景観）」、「したたかに（経済）」、そして「楽しい（文化・教育）」の地域の実現を目指します。

いちのせき市民活動センター事業報告

平成25年度事業計画

平成25年度スローガン～地域らしさと地域力の向上の尊重～

ＣＯＮＮＥＣＴ×ＣＯＮＮＥＣＴ

一関市は、平成23年に藤沢町が合併し、8市町村1市として、新たな一歩を踏み出しました。協働のアクションプランを策定し、地域説明会や懇談会は行っているものの、まだまだ住民一人ひとりに伝わっていない現状があります。協働とは何か？を分かりやすく伝えること、協働は、まちづくりの手法でありゴールではないこと、地域協働体は新たな組織をつくることではなく、地域住民が話し合いをする場であることなど、すべて住みよい地域をつくるためのプロセスであることを丁寧に発信していかなければいけません。

いちのせき市民活動センターは、昨年度から導入している地域担当制を有効に活かし、つながりを大切にし、対話ができる地域づくりを推進し、市民公益の意識高揚に寄与する１年として努めます。

誰が、いつ、どこで、どんなサービスを提供する際にも、同一レベルのクオリティが維持できるよう内部研修の強化、情報の共有を徹底し、スタッフ個々人が常に情報の発信源になり、人と向き合い、人間関係を構築し、顧客満足度の向上に努めます。

平成25年度取組事業

①　利用者に対する市民活動相談支援事業　[継続]
②　地域協働体の組織づくり支援事業　[拡充]
③　情報発信・収集、啓発事業　[継続]
④　地域への参画支援事業　[継続]
⑤　話し合い支援事業　[継続]
⑥　市民活動団体との連携　[拡充]
⑦　職員の資質向上　[継続]

いちのせき市民活動センター事業報告

総括

平成25年度は、当センターにとって大きな転換期となったと感じています。

一関市の地域協働推進の強化策に伴い、31か所の基幹公民館単位において地域協働体の設立を進めるためにチーム会議が設置され、中間支援としてそのメンバーに携わり、地域ごとに戦略会議を開催し、地域懇談会やワークショップを積極的に展開したことで地域への存在感をアピールすることができた1年でした。

昨年度から導入している地域担当制が活かされ、NPO団体、自治会等地縁組織、支所、公民館、社会福祉協議会など地域づくりの主体との連携強化を図ることができ、出先での相談対応や地域の声を拾い、情報提供や情報収集が、これまでよりスムーズに対応することができるようになったことは大きな成果と感じています。地域によって背景や事情が違うことから進むスピードが違いますが、その地域にあった協働を模索しながら、地域住民と行政がよりよい関係性を保ちながら進められるように話し合いのプロセスに重点をおくことに注視しています。地域協働に関して地域住民の関心も高く、総論賛成の部分は伺えるのですが、まだまだ各論の部分で反対があったり、やはり時間をかけて話し合いの中で合意点を探っていくことを今後も継続していく必要があります。

地域協働の1年と言っても過言ではないほど協働という言葉を発しなかったことはありませんが、NPO支援もこれまで同様に支援を行いました。NPO法人設立は、事業の展開やその安定性を見込むことができない限り、設立申請に至ることは少なくなりましたが、震災以降、NPOへの認識は高まり続け、やはり自発的に何かしたいと考えている市民の方は多く見られます。その結果として、昨年以上に団体設立に関する相談が多かったことがあげられ、その中の相談支援から、1団体が任意団体として設立まで支援することができました。また、設立以降も、助成金申請や事業支援まで行うことができました。今後も、テーマ型の団体の育成や設立を、丁寧に状況と展開を読みながら、地域に根差すテーマ型活動ができるよう支援していきます。

同じ地域で暮らす市民、団体が、互いに磨き上げ、自らよりよい活動を通して地域づくりにつながるよう支援体制を整えていきたいと考えています。

一方で、当センターが行っていることが分からない、どのようなことでセンターを利用したらいいのか？などの意見もいただき、まだまだセンター機能の周知、利用の仕方が伝わっていないことも伺うことができました。このことは、次年度以降、センターの利用の仕方など周知の工夫をしなければいけない課題だと振り返ります。

1年を振り返り、センター機能としてスタッフが業務分掌により、その成果を求め業務の各種報告を以下の通りまとめます。

利用者に対する市民活動相談支援事業　[継続]

進め方と目標管理

当業務の実施にあたっては常に利用者のニーズ把握に努め、業務内容の充実を図る。

①相談は、1件が1つの取り扱い件数とし、同日で同じ人から2つの相談を受ける場合もある。

②継続した対応が必要な場合は、相談者と協議のうえ、期限を決め（目安は2週間以内）、次回の対応日を約束する。

③受付シートをPCで作成し、対応や判断の状況を明らかにする。

④相談区分は、団体設立に関する相談、団体運営に関する相談、事業運営に関する相談、照会や情報収集に関する相談の大きく4分類する。

実績

細目	活動指標	実績
設立相談	目標30件（平成24年14件）	57件
組織運営相談	目標40件（平成24年19件）	32件
事業運営相談	目標400件（平成24年335件）	425件
照会・情報収集	目標400件（平成24年371件）	473件

振り返り

相談窓口を開設していることにより、常時、対応できることはリピーターとなる相談者にとって気軽に立ち寄れる場所としてサービス提供に努めました。設立相談が昨年よりも件数が伸び、何かしてみたいと思うことを、どんなことがやれるかを一緒に考え、見える化してあげることで、任意団体が1団体設立されました。事業相談や照会といったセンターが持ち合わせている情報やノウハウを頼りに相談にくる方が多いことは、市民活動や地域づくりの相談拠点としてセンターの存在意義があることだと自負しています。また、地域担当制による定期訪問が大きく役割を果たしたことを実感しています。相談窓口に行きたくても行けなかった方、どこに相談して良いか分からなかった方に、訪問先で、相談を伺ったりすることができ、利用者ニーズに合わせた相談対応業務ができたことを成果と思います。相談内容に関してスタッフ間での共有がうまくいかないことがありましたが、口頭での共有ではなく、インターネットシステムで相談受付対応票を公開することにしました。このことにより、どんな相談があり、どのような対応をしたか全スタッフで共有しやすくなったと感じています。

地域協働体の組織づくり支援業務　[拡充]

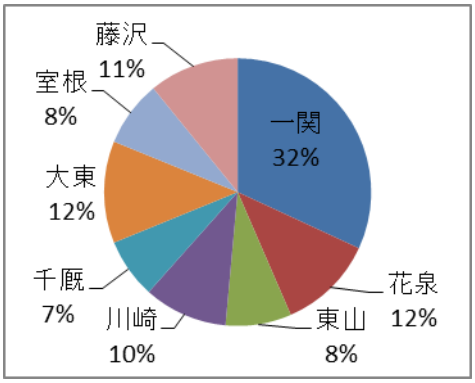
進め方と目標管理

地域又は、行政と連携して、地域協働体の設立支援、活動支援の業務を行う。業務を進めるにあたり、地域懇談会でのファシリテーター派遣、地域協働の理解を深めるための研修の企画運営、地域づくり計画策定支援、チーム会議の4種類に分類する。

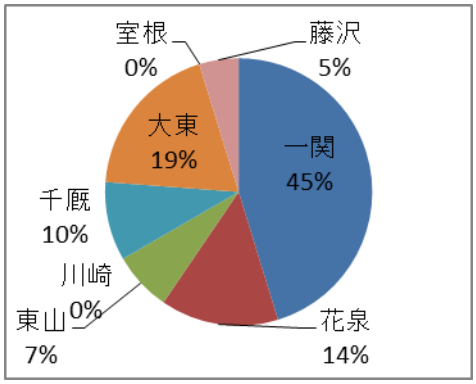
実績

細目	活動指標	実績
ファシリテーター派遣	随時	108件
自治会ヒアリング	随時	29件
研修の企画運営	目標10講座	32回
地域づくり計画策定支援	随時	22回
チーム会議	毎月1回公民館単位	192回

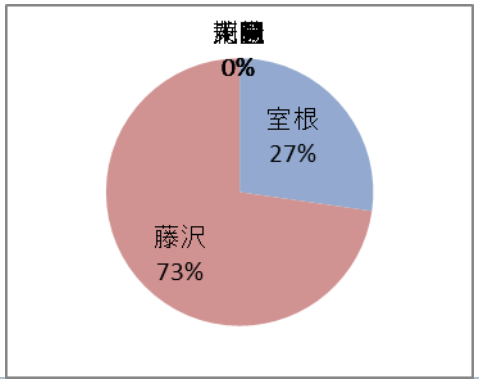
ファシリテーター派遣



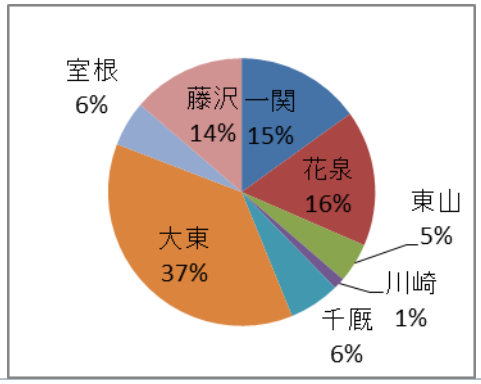
研修の企画運営



地域づくり計画策定支援



チーム会議



いちのせき市民活動センター事業報告

振り返り（公民館単位での実績数値については、別紙を参照してください。ここでの振り返りは、旧町村単位での振り返りを記載します。）

※ファシリテーター派遣

これから地域協働体という地域を代表する地域自主組織を形成し、住民自治による地域づくりを進めていくために、地域協働に関する地域懇談会やワークショップが開催され、ファシリテーターとしてプロジェクトチームを組み参加し、108回を数えています。今、なぜ協働なのか？なんのために協働するのか？を理解されるまで時間がかかり、その必要性を感じ取ってもらうために、地域のみなさんから地域の今として現状や課題を述べてもらう場を多くつくりました。協働という手法の用い方は、その地域に合わせたものを考え摘要させていくことが必要であり、すぐに地域協働体設立には至りませんでしたが、現状や課題の認識を通して、みんなで考える基礎づくりを行うことはできたと感じています。しかし、1回の懇談会やワークショップにおいて住民の参加サイズが大きくなればなるほど、テーブルファシリテーターの数が増え、現在の当センタースタッフだけでは担えなくなってきており、地域でファシリテーターができる人を増やしていく必要があると感じています。

公民館	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
藤沢							1	5	1	2	2	3	14
川崎		2	1	2		2	1	1	1		2		12
室根		1	1	1	1	1					5	2	12
山目	2	3	1	2		1			1		1		11
狐禅寺		1	1	2			2			1			7
曽慶			1		1		1		1	1		2	7
萩荘		1	1	1				1	1	1			6
田河津							1	1	1	1	1		5
中里		2	1							1			4
千厩				1	2		1						4
弥栄		1	1									1	3
油島				1		1	1						3
奥玉										1	2		3
小梨					1		1					1	3
大原					1		1		1				3
渋民					1				1		1		3
一関		1	1										2
厳美		2											2
舞川		2											2
猿沢								1					1
摺沢												1	1
老松													0
金沢													0
永井													0
花泉													0
日形													0
涌津													0
東山													0
松川													0
磐清水													0
興田													0

いちのせき市民活動センター事業報告

※研修の企画運営

協働を分かりやすく説明するために講演会講師を務め、さらには、地域の方が協働したらこうなるというイメージをつかんでもらいたいとの想いから協働の紙芝居をオリジナルで製作し、地域での上映会を開催しました。講演や紙芝居は、協働に関する理解を深める良い素材であると自負しています。

公民館	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
舞川				1							1		2
金沢								1				1	2
川崎								1			1		2
田河津					1							1	2
小梨			1					1					2
興田		1								1			2
摺沢				1		1							2
藤沢					2								2
一関				1									1
厳美				1									1
狐禅寺				1									1
中里				1									1
萩荘				1									1
弥栄				1									1
山目				1									1
花泉											1		1
日形										1			1
涌津											1		1
油島										1			1
磐清水			1										1
千厩									1				1
大原				1									1
猿沢		1											1
渋民		1											1
老松													0
永井													0
東山													0
松川													0
奥玉													0
曽慶													0
室根													0

いちのせき市民活動センター事業報告

※地域づくり計画の策定支援

各地域において地域づくりを進めていくために地域づくり計画（概ね10年）を策定することが施策の中で決まっています。住民参加による地域の声を集約した計画をつくるために、ファシリテーターとしてワークショップの設計から運営まで行いました。地域づくり計画は、策定の動きがある地域での業務になるため、今年度は、室根町と藤沢町の2地区で支援にあたりました。

公民館	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
藤沢								1	3	4	4	4	16
室根	1	1	1	1	1	1							6
一関													0
厳美													0
狐禅寺													0
中里													0
萩荘													0
舞川													0
弥栄													0
山目													0
老松													0
金沢													0
永井													0
花泉													0
日形													0
涌津													0
油島													0
川崎													0
田河津													0
東山													0
松川													0
磐清水													0
奥玉													0
小梨													0
千厩													0
大原													0
興田													0
猿沢													0
渋民													0
摺沢													0
曽慶													0

いちのせき市民活動センター事業報告

※チーム会議

地域協働を戦略的に進めていくためのチーム会議は、協働推進課（地域振興課）、公民館、当センターの三者が中心となり会議開催するもので、地域の背景や状況により、開催頻度は異なりましたが、地域の現状を踏まえ進捗管理できたことは、推進チームとしては目的が明確であり、役割分担ができ、とても良い会議であったと感じています。会議開催回数が少ない地域は、進んでいないということではなく、進めるタイミングとアプローチが絞り切れていないことが原因であり、今後、アプローチの仕方を検討していく必要があると感じています。

公民館	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
藤沢	1	1	1	1	2	1	1	2	2	2	2	1	17
摺沢		2	1	1	1		1	1		1	1	1	10
山目	1	1	1	1		1			2	1	1		9
小梨	1	1	1	1	1	1		1			1	1	9
大原		2	1	1	1	1	1	1				1	9
興田		2	1	1	1		1	1			1	1	9
渋民	1	1		2	1			1	1	1	1		9
曽慶		1	1	1	1				1	1	2	1	9
磐清水	1	1	1	1	1	1		1			1		8
奥玉	1	1	1	1	1	1		1			1		8
千厩	1	1	1	1	1	1		1			1		8
室根		1	2	1			1		1	1		1	8
田河津		1	1	1		1				1	1	1	7
花泉		1	1				1		1		1	1	6
涌津		1		1			1		1		1	1	6
東山		1	1	1						1	1	1	6
松川		1	1	1						1	1	1	6
老松		1	1		1				1	1			5
日形		1	1		1				1		1		5
油島		1	1				1		1			1	5
猿沢	1	1			1		1					1	5
狐禅寺	1	1							1			1	4
萩荘	1						1		1	1			4
金沢		1	1				1				1		4
舞川	1	1							1				3
弥栄	1				1						1		3
永井		1	1				1						3
一関		1					1						2
厳美	1								1				2
川崎	1	1											2
中里	1												1

いちのせき市民活動センター事業報告

※自治会ヒアリング

地域協働を戦略的に進めていくためにセンターとして、地域のキーパーソンとなる自治会長や区長とつながりをつくりながら地域の状況を把握するため、ヒアリング調査を開始しました。調査の結果は、センター内でデータベース化し、レーダーなどグラフの活用を行いコミュニティ力を見える化するようにしています。このヒアリング調査は、今後、地域協働体の設立が進み、地域協働推進員が配置された時に、協働推進員と共有するものと考えています。

公民館	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
老松								2	2	4	4	1	13
狐禅寺							1	1	1	1			4
松川											1	2	3
一関											2		2
田河津					1					1			2
中里					1								1
山目										1			1
川崎					1								1
興田									1				1
藤沢								1					1
厳美													0
萩荘													0
舞川													0
弥栄													0
金沢													0
永井													0
花泉													0
日形													0
涌津													0
油島													0
東山													0
磐清水													0
奥玉													0
小梨													0
千厩													0
大原													0
猿沢													0
渋民													0
摺沢													0
曽慶													0
室根													0

情報発信・収集、啓発事業　[継続]

進め方と目標管理

市民活動、協働に関する情報を広く発信し、市民活動の周知・啓発を図るため、以下の業務を行うこと。

①ホームページのアクセス数を毎日記録する。

②ホームページの更新回数を記録する。

③メーリングリストによる情報発信。

実績

細目	活動指標	実績
①　ホームページ・ブログの運営管理	HP目標アクセス数21,000件	HPカウント22,836件
		ブログ更新452件
②市民活動に関する情報収集・提供	随時	
③市民活動に関する図書・機関紙等の収集及び整理	年間12回（概ね月1回）	12回

※センター情報誌idea発行実績

	発行日	地域紹介	企業紹介	団体紹介
1	４月２５日	大東　峠自治会	花泉　クリーンセンター花泉（有）	一関　ケアセンターいこい
2	５月２５日	東山　横沢部落自治会	一関　一関糧運（株）	藤沢　ボラントピアセンター
3	６月２５日	花泉　上在郷自治会	川崎　株式会社格之進	室根　とーばんふうどくらぶ
4	７月２５日	一関　真滝２民区	千厩　（株）千厩マランツ	大東　大原水かけ祭り
5	８月２５日	千厩　１-１自治会	室根　有限会社及川石材店	花泉　花泉先人顕彰会
6	９月２５日	川崎　所萱自治会	東山　（株）東山フェルト	千厩　せんまや赤ちゃん相撲
7	１０月２５日	室根　１０区自治会	一関　（株）菜花堂	東山　山神社奉納演芸会実委
8	１１月２５日	大東　松原自治会	藤沢　（株）マーナー・コスメチックス	一関　いわいの里ガイドの会
9	１２月２５日	藤沢　第２区自治会	大東　産直ふるさと大東	川崎　一関市川崎町女性協会
10	１月２５日	花泉　上油田第３区公民館	一関　株式会社平野組	藤沢　本郷神楽保存会
11	２月２５日	一関　１６西区	千厩　お弁当のまんまや	大東　大東め組太鼓
12	３月２５日	千厩　寺沢自治会	東山　有限会社大工業	室根　室根産地直売組合

いちのせき市民活動センター事業報告

振り返り

※WEB活用について

アクセス解析の結果、1年間の検索キーワード上位は1位がブックマーク、以下「いちのせき市民活動センター」「一関市 響生 杉山」「チャリティコンサート きらきら星の調べ 一ノ関」「一関市東山町 門松作り」「一関市民活動センター」「ファンスポルト一関」「一関市 市民活動」「わんこもち」「わんこもち大会」「レスパイトハウス・ハンズ」からでした。検索エンジンはヤフーが46%、グーグルが42%であり、ブラウザーはインターネットエクスプローラーが59%、アンドロイドブラウザーが12%であったことから、多くの方がパソコンからブックマークで閲覧しているほか、10人に1人がスマートフォンから閲覧していることがうかがえます。ブログの更新回数は418件、一か月に平均38件と頻度は高いですが、スタッフが参加したワークショップの様子など、センターが行う事業の臨場感のある情報の発信ができなかったことが課題となっています。

※idea発行について

年間予定を担当者間で話し合い「年間予定表」を作成し、取材、掲載する地域が重ならないように工夫しています。ideaを毎号綴ってくださる方もいらっしゃり、区長・自治会長方からは「地域づくりの参考になっているよ」「地域情報が得られているよ」というお言葉を頂いていることから、「idea」を毎月楽しみに待っていて下さる方が増えてきていることを実感しています。しかし、取材の申し込みが遅くなり、締め切り間近に記事が出来上がるという状況もあり、業務スケジュール管理のあまさがでてしまったことは課題です。対策として、新年度から翌々月号の取材を行い、余裕をもって編集業務にあたっていきたいと考えています。また、取材団体・企業と継続的なコミニケーションが計れなかったことも反省点です。新年度はidea発行後、取材先へお礼も兼ねて地域担当者を紹介し継続的な繋がりが保てるように関係構築に努めます。

いちのせき市民活動センター事業報告

地域への参画支援業務

進め方と目標管理

地域で活動を行っている者または、これから行おうとする者に対して、市民活動入門講座等を開催し、地域の担い手として活躍する場を広げ、積極的に社会参加（参画）を支援していく。

実績

一関開催講座

	開催日	講座名	講師名	参加者数
1	平成25年7月20日（土）	想いが伝わるチラシデザイン講座	澁谷和之	36
2	平成25年8月31日（土）	ファシリテーション講座①	小野寺浩樹	9
3	平成25年9月28日（土）	団体運営のリスク管理講座	久保協一	16
4	平成25年10月5日（土）	ファシリテーション講座②	小野寺浩樹	11
5	平成25年12月7日（土）	NPOのための会計税務講座	成田由加里	14
6	平成26年2月8日（土）	NPOなんでも相談会	シニアパワーいわて	3

千厩開催講座

	開催日	講座名	講師名	参加者数
1	平成25年8月31日（土）	「限界集落問題を考える」（室根）	山下祐介	33
2	平成25年8月31日（土）	「限界集落問題を考える」（千厩）	山下祐介	65
3	中止	「世代間ワークショップ」※連続4回		
4	平成26年2月17日（月）	「情報発信のススメ」	サテライトスタッフ フリーペーパーhanauta	16

いちのせき市民活動センター事業報告

協働推進に関わる職員研修

回数	日時	プログラム	備考
1	4/8（月） 10：00～12：00	協働のまちづくり ～概論～	協働って何？最近、よく聴く協働について。 一関市が進める協働のまちづくりについて今、なぜ地域づくりをしなければならばいのか？
		協働のまちづくり 地域づくりの主体について ～NPO編～	地域づくりの主体の中で分からないと言われるNPO。 NPOという組織、役割について。
2	4/8（月） 13：00～15：00	協働のまちづくり 地域づくりの主体について ～コミュニティ編～	地縁組織の考え方、課題、今後のコミュニティの在り方について。
		協働のまちづくり 地域づくりの主体について～企業編	地域づくりに企業は、関係あるの？ 企業の役割と現状について
		協働のまちづくり 地域づくりの主体について～行政編	行政の役割って、昔と今は違う！
3	4/12（金） 10：00～12：00	会議ファシリテーション ～会議設計編～	ファシリテーションって何？ 会議の作り方について。
4	4/12（金） 13：00～15：00	会議ファシリテーション ～コミュニケーション編～	ファシリテーターとしてのコミュニケーションのとりかたについて。
5	4/15（月） 10：00～12：00	会議ファシリテーション ～会議の見える化編～	会議の見える化・構造化。 議論を描くって、どういうこと？
6	4/15（月） 13：00～15：00	会議ファシリテーション ～いろいろな会議のカタチ～	KJ法、ワールドカフェなど、いろいろな会議手法
		会議ファシリテーション ～合意形成編～	合意形成の仕方について。
7	4/16（火） 10：00～12：00	集落点検	まちあるきの仕方
8	4/16（火） 13：00～15：00	集落点検	まちあるきの結果をもとに集落調査票をつくる
9	4/22（月） 13：00～15：00	NPO法人申請の仕方①	NPO法人申請の進め方 手順から申請書類作成まで
10	4/23（火） 13：00～15：00	NPO法人申請の仕方②	NPO法人申請の進め方 手順から申請書類作成まで

いちのせき市民活動センター事業報告

振り返り

※一関

今年度は、一関が団体運営等に関わることをねらいに企画立案し、一関で６回の講座を開催しました。

参加者の事後アンケートの総計からは、「十分理解できた＋理解できた」の割合が97%であり、講座の内容については好意的に受け止められていると考える。しかし、講座の内容が参加者の思い描いていた内容とずれていたとの感想や平日の開催であれば参加出来たとの意見も寄せられています。講座の開催期日、内容、周知方法等を検証し、来年度事業に活かしたいと思っています。

※せんまやサテライト

せんまやサテライト主管講座においては、せんまやサテライト担当エリア(千厩・大東・室根・藤沢)の一般地域住民に焦点を定め、協働のまちづくりにもリンクしていくことができるようにと「地域づくり講座」と銘打っての開催としました。

地域づくり講座Ⅰの限界集落問題に関する講演を皮切りに、連続4回の「世代間ワークショップ」、そして「情報発信のススメ」へと、次の講座への関連性やストーリー性をもたせた構成で計画をしましたが、準備不足と地域の実情とのミスマッチがあり、「世代間ワークショップ」に関してはやむを得ず中止せざるえませんでした。

結果としては2講座のみの開催となったが、広く地域住民の方の参加を賜り、講座をきっかけとした交流や相談対応へのつながりを見せるなど、地域への参画支援としてはある程度の結果を残すことができたことは、今後継続の手応えを感じています。

来年度は、より住民ニーズを取り込み、また地域行事等との調整も意識しながら、参加しやすく、参加者同士の交流にもつながるような、発展的な講座を組み立てていきたいと思います。

話し合い支援業務

進め方と目標管理

団体や行政が行う課題解決や新たな取り組みを進めるため、話し合いによる合意形成や参加意欲の向上を図るような方法や手法を伝えるよう、地縁組織や行政の研修会の協力を行っていく。

実績

細目	活動指標	実績
団体の話し合い支援	随時	61
行政の行う会議等の支援	随時	22

振り返り

センターの特徴でもあるファシリテーションを活かした話し合い支援は、団体の話し合いと行政が行う市民を交えた話し合いにおいて、意見を引き出し、より良い合意形成を図るためにスタッフ全員で行ました。今年度においては、地域協働での実績を多く積んだため、団体や地域協働以外での話し合い支援は、テーマが具体的なものが多いため、合意形成までの道のりをスムーズに描くことができたと実感しています。

団体の話し合い支援においては、情報提供やノウハウ提供が求められることが多く、行政が行う話し合い支援においては、ファシリテーターとして中立的な立場で対立関係を作らない場づくりや合意形成が求められています。

市民活動団体との連携業務

進め方と目標管理

上記の業務を効果的に実施するため、市民活動団体と連携し、支援事業と位置づけて一体的に実施する。

◎管内市民団体が集まり、必要な市民活動に関する情報交換等を行う日を設定し運営する。

◎市民活動団体との協働による各種イベントの実施を支援する。

◎市民活動事務室及び会議室の管理並びに連絡会議を開催する。

実績

■いちのせき市民活動促進会議インアーチ

市内NPOネットワーク「いちのせき市民活動促進会議インアーチ」を開催し、情報交換および協同企画「いちのせき市民フェスタ13」を開催しました。

※会議

日にち	内容	参加団体（参加者数）	会場
7月6日	意見交換・会場視察等	インアーチ参加団体等(16名)	なのはなプラザ4階共同会議室・2階
7月26日	ポスター確認・備品、導線確認等	インアーチ参加団体等(14名)	なのはなプラザ4階共同会議室・2階
8月20日	会場レイアウト・駐車場対応等	インアーチ参加団体等(22名)	なのはなプラザ4階共同会議室・2階
9月6日	アンケート報告・振り返り・意見交換	インアーチ参加団体等(14名)	なのはなプラザ4階共同会議室

※市民フェスタ参加団体

◆市民フェスタ

1 NPO法人響生　2 大東町少年少女発明クラブ　3 一関市少年少女発明クラブ　4 NPO法人アートで明るぐ生ぎるかわさき　5 一関マジックの会　6 老松活性化同志会　7 NPO法人とーばんふうどくらぶ　8 いちのせきニューツーリズム協議会　9 一関子ども劇場　10いわいの里ｶﾞｲﾄﾞの会　11 一関シニア活動プラザ　12 いちの

いちのせき市民活動センター事業報告

せき若者サポートステーション　13 ジョブカフェ一関　14 いわて大東屋　15 NPO法人ケアセンターいこい　16 NPO法人六等星　17 ハートフルショップいちのせき　18 両磐地域まちづくり探検隊　19 NPO法人レスパイトハウス・ハンズ　20 Ｃａｆé&Ｇａｌｌｅｒｙさくらなみき　21 パカポコクラブ　22 創作空間工房「咲」　23 一関世代にかける橋　24 ＮＰＯ法人ファンスポルト一関　25 一関地球温暖化対策地域協議会　26 カマバタ織りの会　27 千厩着物虫干し会　28 NPO法人北上川サポート協会　29 NPO法人いちのせき子育てネット　30 福祉に架ける橋の会　31琴美会　32一関市愛育会　33 NPO法人一関ケアセンター慰問事業部

◆全国地域事例トレーディングパーク

34 一般社団法人ＩＳＨＩＮＯＭＡＫＩ2.0　35 NPO法人まちづくり喜多方　36 まちづくりＮＰＯげんき宮城研究所　37 NPO法人いわて連携復興センター　38 NPO法人白神共生機構　39 地域コーディネートセンターみやこ　40 やまがた里の暮らし推進機構　41 黒石やきそば応援団ブラスト　42 NPO法人いわてＮＰＯ－ＮＥＴサポート　43 いちのせき市民活動センター

※状況報告

会場を一ノ関駅東口交流センターからなのはなプラザに移して初の開催となった今回の市民フェスタは、同時開催された全国地域事例トレーディングパークと併せ、北は青森から南は福島まで過去最大規模、43団体の参加を得て開催されました。開催当日は文化センターで開催された地ビール祭りと被るスケジュールとなりましたたが、徒歩圏内として相互に相乗効果が見込めるという期待がもたれました。また、参加団体の駐車場確保の為、近隣の岩手銀行・北日本銀行・一関信用金庫といった企業様の協力を得た他、翌日の岩手日日新聞では、1面で紹介されたほか、別面で約3分の1ページを割いてのカラー写真入り関連記事が掲載され注目を集めました。

※総評

成果

4月に市街地活性化センター「なのはなプラザ」がフルオープンしたことを受け、施設の周知と積極的な有効活用を意図し、今年度の開催場所をなのはなプラザとし、2階にぎわい創造センターをメイン会場としました。参加者からは市民フェスタを通じてなのはなプラザやにぎわい創造センターを初めて利用したという声も少なからずあり、施設を知ってもらうという狙いはある程度の効果があったと考えられます。また、なのはなプラザの入居団体にも参加を呼びかけ、なのはなプラザ全館としてのイベントを目指すことで、それぞれの活動紹介などを通じ入居団体間の交流・連携に貢献できたと考えています。会場が広がった事でより多くの団体に参加していただくことが可能とな

り、市民活動センターの各業務での繋がりを活かした新規参加団体を迎えることが出来、過去最大規模の43団体を集めることが出来ました。参加者からは「市民フェスタは団体間の交流・相互理解に役立っており、今後も継続してほしい」という声を頂いており、各団体において「活動紹介の場」「情報収集・発信の場」「交流の場」と様々な目的で活用されていることが伺えます。会場準備は、にぎわい創造センターでほとんどの備品がそろう事からこれまでに比べ格段にスムーズで、当日の天候に左右されないという点も評価されました。

課題

ポスター制作など準備が遅れ、一般への周知が不足だったこともあり集客に課題が残りました。より多くの市民に団体を知ってもらう機会とするために、集客という視点を強化することが必要ですが、今年に関しては地ビール祭りとの相乗効果はほとんど感じられませんでしたが、他のイベントの日程を考慮する必要もあると感じ、次年度については地ビール祭りと被らない日程を予定しています。一方で集客が増えれば駐車場の確保も課題になりますが、計画の中で検討していきたいと考えています。

屋内、かつ元々が商業施設なので、電源の容量、煙センサーの設備的な制約がある事から、飲食メニューについて一定の制約を設けざるを得ないという状況があります。なのはなプラザを会場として開催する以上避けられない課題なので、参加団体と提供メニューの調整を通じその都度対応していく予定です。

■未来塾

餅文化伝承のまち・一関を全国にPRするため、岩手名物「わんこそば」を餅に代えた大会を開催し、ユニークな方法で市民をはじめたくさんの方が一関の餅文化に触れ、関心を持つことを目的として開催する全国わんこもち大会を運営する20代～40代の異業種交流団体の活動を支援しました。

会議

日にち	内容	参加団体（参加者数）	会場
25年12月19日	第１回 未来塾会議	４名	なのはなプラザ４F
26年1月9日	第２回 未来塾会議	４名	なのはなプラザ４F
26 年1月28日	第３回 未来塾会議	５名	なのはなプラザ４F
26年2月4日	第４回 未来塾会議	５名	なのはなプラザ４F

いちのせき市民活動センター事業報告

※総評

第７回全国わんこもち大会の日は、大雪による各種交通機関の遅れ、道路状況の悪さが原因となり、例年に比べ参加者数は伸び悩んだものの、会場は熱気に包まれ、大変賑わっておりました。

出場選手は、東北（青森・福島・山形）、県内（宮古・奥州市）からも申込みがあり、内リピーターの方が約５割、残り５割の初参加の方は口コミやホームページ等を伝い申し込みがありました。年齢は小学生から８０代の高齢者までと幅広く、性別・年齢関係なく同じ目的で楽しめるのもわんこもち大会の魅力です。

今年は、「全国もちサミット」からの出店の他、地元企業からも出店があり、参加者は大会の見物、出店店舗からの商品購入を通じて、一関のもち文化に触れていました。以上のことから、わんこもち大会の目的は達成できたと感じております。 一方、課題としては、実行委員会スタッフの人数不足、資金不足があります。

本大会は今年で７回目、また、９月１日に川崎地域、９月１４日に千厩地域でも開催し、一関地域にわんこもちが定着しつつあります。今後も、一関市の餅文化を広く発信するユニークな催物として、活動に力を入れてまいりたいと思います。

■市民活動事務室及び会議室の管理並びに連絡会議

なのはなプラザ4階市民活動事務室の管理および4階共同会議室の管理、さらには、4階入居団体の連絡調整会議を毎月第4金曜日に開催し、入団団体および利用者ニーズの把握に努めました。

市民活動事務室利用状況（入居登録団体6団体）

地域支援団体Arch、結ふるさざほざ、いわいの里ガイドの会、一関国際交流協会、エジプトルクソール交流協会、リレーフォーライフ一関実行委員会

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用人数	73人	76人	72人	82人	75人	58人	85人	40人	35人	27人	45人	45人	713人
合計	1426人												

4階共同会議室利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用件数	12件	16件	13件	14件	13件	17件	15件	18件	22件	18件	19件	16件	193件
利用人数	302人	190人	121人	196人	131人	217人	153人	250人	151人	150人	152人	167人	2180人

職員の資質向上

職員の資質向上のため、各研修会に参加しました。

日にち	研修内容	参加スタッフ
4/18～4/20	エンパブリック（東京）主催	佐々木、佐藤
6/19	チームいわてびと（盛岡）主催ALTリーダー育成研修	畠山
6/24～6/25	杜の伝言板ゆるる（宮城）主催東北NPO支援初任者研修	金野、佐藤
10/25	地域コミュニティフォーラム	畠山、金野
12/20	岩手県社協（岩手）主催福祉コミュニティづくり推進セミナー	佐々木
2/5～2/6	せんだい・みやぎNPOセンター（宮城）主催 NPOのステップアップに必要な5+1講座	畠山、金野、千葉、 佐藤、鈴木